

令和3年6月11日

大阪府知事 吉村 洋文 様

大阪維新の会 大阪府議会議員団

代 表 森 和臣

幹 事 長 杉江 友介

政調会長 笹川 理

総務会長 西林 克敏

コロナ禍克服に向けた「出口戦略」を求める要望

現在、「緊急事態宣言」が継続され、不要不急の外出自粛、飲食店等への休業や酒類提供なしでの営業時間の短縮、イベントの無観客開催、在宅勤務（テレワーク）など、府からの要請に対する府民や事業者の皆様の多大なご協力により、新規陽性者数や陽性率が減少してきているものの、依然として、重症病床使用率は69.2%（6月10日時点）という状態にあり、医療体制は予断を許さない状況が続いている。

このような状況の中、府民の命や医療現場等を守り、また、一日も早く社会経済を動かし、府民の生活を安定させていくためにも、新規陽性者数を抑え込み、重症者数を減らす必要があり、そのためには、希望する府民へのワクチン接種の早期完了を実現するとともに、社会経済活動の再開に向けた、府の「出口戦略」を策定する必要があると考える。

以上のことを踏まえ、下記の項目を要望する。

記

1. 長期化するコロナ対策に係る要請等により疲弊している大阪経済の回復と正常化に向け、重症病床の使用者数とワクチン接種の進捗等に応じて、社会経済活動を段階的に緩和させていくといった、府民や事業者の皆さんに分かりやすい「出口戦略」を立てていただきたい。また、社会経済活動の再開にあたっては、必要な予算をしっかりと確保するため、国へ積極的に交付金等の増額を求めている。

2. 学生・若者も含めた64歳以下のワクチン接種を希望する府民が、1日でも早く接種できるよう、市町村と連携し、職域接種（職場や大学等での接種）への積極的な支援を行うとともに、府としても職員等に対する職域接種を行うなど、様々なアイデアを用い、臨機応変にあらゆる方策や場所でワクチン接種が実施できるよう取り組んでいただきたい。
3. 65歳以上の希望する高齢者へのワクチン接種が7月末までに完了できるよう、府として実施できること、及び、市町村へ支援できることは、可能な限り実施できる体制を構築していただくとともに、府の大規模接種会場では、利便性と効率性を高め、最大限の接種が可能となるよう、予約に空きがある場合には、対象者の枠を早期に拡げていただきたい。
4. 感染再拡大（第5波）を想定した病床確保・医療体制の強化に取り組み、必要であれば、国に対して予算や場所の確保を求めるなど、あらゆる手立てを講じていただきたい。
5. 新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ方々の相談・診療体制を早急に構築するとともに、社会に対し後遺症に対する理解を深める取り組みを行っていただきたい。